



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆平成28年度第2回医療管理講習会

日本歯科医師会における医療管理の取り組み

◆第12回臨時代議員会

平成29年度事業計画を承認

◆平成29年度歯科助手講習会

◆平成29年度第1回郡市会長会議



三重県 歯科 協会 報



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2017



No. 686

平成28年度第2回医療管理講習会	1
平成29年度歯科助手講習会	4
第12回臨時時代議員会（29年度事業計画及び予算等を承認）	6
平成29年度事業計画	10
平成29年度第1回理事会（県医・三重大病院等との連携強化へ）	14
平成29年度第1回郡市会長会議（医科歯科連携の推進、新たな段階へ）	16
平成29年度第2回理事会 （8月に県医との合同研修会を開催することを決定）	20
医療管理（医療費控除の申告手続の改正について）	22
<hr/>	
4月・5月会務日誌	23
会員消息／新入会員プロフィール	24
障害者歯科センター診療状況	26
告知板（第39回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催のご案内）	27
会員の広場（第72回東海4県歯科医師親善ゴルフ大会開催される）	28
互助会の現況	29
平成28年12月・平成29年1月診療分歯科診療報酬状況	29
国保組合の現況	30
編集後記	31

平成28年度 第2回医療管理講習会

平成29年3月12日（日）
三重県歯科医師会館

3月12日（日）、平成28年度第2回医療管理講習会が開かれ、日歯の瀬古口精良常務理事が「日本歯科医師会における医療管理の取り組み」と題して講演した。最初のトピックとしては、日歯・医療管理課の担当分野の一つである税務に関連して、29年度税制改正要望について国政への働き掛けも含めて説明。次いで歯科衛生士・歯科技工士需給問題に関連して、全国的な養成学校定員割れ等（歯科技工士養成学校の廃校含む）への対策として日歯が作成した8020テレビを供覧するとともに、歯科衛生士会や歯科技工士会との協議内容についても説明した。特に歯科技工士の需給問題は深刻で、組織率の向上も含め課題が多いと感じられた。後半は27年10月から開始された医療事故調査制度について、同制度の概要から支援団体としての日歯の役割までを解説。この制度に対応する院内事故調査費用保険は日歯が全額費用負担するものであることが紹介され、仮に死亡事例があり報告が必要になったとしても、日歯会員に対しては日歯及び都道府県歯が全面的にバックアップすることを強調した。その他、▽医療広告のあり方▽院内感染対策▽薬剤耐性（AMR）対策▽セルフメディケーション税制ー等についても解説された。

（医療管理委員・佐田浩孝 記）

日本歯科医師会における医療管理の取り組み

日本歯科医師会・瀬古口精良常務理事



税制改正要望

最近の歯科医師会では、いわゆる「地域医療・公衆衛生」「社会保険」「学術」「会員厚生」等といった分かりやすく区分される事業以外はほとん

ど「医療管理」の担当とされる傾向にある。感染予防等を含む医療安全に関することから、医院経営や広告等、必ずしも関連が深くないものまで包括した対応が求められる。税務もその一つである。

日歯の税務・青色申告委員会の大きな役割が、毎年行われる税制改正に対する歯科界としての要望の取りまとめである。医療税制において重要な位置を占める社会保険診療報酬に対する事業税非課税及び所得計算の特例措置（いわゆる4段階制）については、日歯連盟と協力しながらその存続に力を尽くしてきた。加えて、近年大きなテーマとなってきたのが控除対象外消費税への対応である。平成元年に消費税が導入された時から、社会保険診療報酬は「非課税取引」とされ、消費税に係る

コストアップ分については診療報酬に補填することとされてきたが、その後の消費税率引上げに伴い、補填が不十分であると指摘されるようになった。特に医科においては高額投資に伴う消費税負担が大きい病院等を中心に課税転換を求める声さえ出始めた。これに対し、日歯では医療の公益性・公共性を重視するとともに、課税転換のデメリット（受診抑制や税制の特例措置への影響等）も考慮し、「非課税」を維持したままでの改善策を模索し、28年度改定では消費税率引上げ分を、分かりやすく初・再診料への補填とする等の成果を上げてきた。27年度末には医師会も「非課税」を前提とする立場を明らかにしており、現在は医療界の足並みは揃っていると考えている。

29年度税制改正に当たっても、医系議員等と協力しながら医療用機器に係る特別償却制度の適用期限延長等を実現した。次年度以降もこうした制度の拡充に努めていきたい。

■ 歯科衛生士の人材確保関係

高齢化の伸展に伴い、口腔ケアの必要性が周知されるとともに、歯科衛生士の需要が高まっているが、結婚・出産による退職後に復帰しない歯科衛生士も多いのが現状である。都市部では歯科衛生士は充足しつつあるが、地方での歯科衛生士需給問題は未だ深刻である。日歯・都道府県歯とも、休眠中の歯科衛生士の掘り起こしのために復職支援対策・スキルアップ事業に力を入れている。また、歯科衛生士志望者の増加につながるような対策を探るべく、現役高校生に対するヒアリング等（29年2月）も実施したが、まだまだ歯科衛生士の認知度が低いことが実感される結果だった。歯科衛生士という資格の名称の見直しまで含めた思い切ったイメージアップ対策が必要かもしれない。高校生の時点では、すでに自分の進路についてある程度決まっていることも多いため、中学生へのアプローチも考えるべきかもしれない。地域の歯科医師会でも学校歯科医や歯科衛生士会と連携し、中高生へのアピールに努めて欲しい。

28年には厚生労働科学研究事業として、日歯も参画した「歯科衛生士及び歯科技工士の復職支援

等の推進に関する研究」が行われたが、これに基づき、29年の厚労省歯科保健関係予算では、唯一の新規事業として「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」に約1億円の予算が付けられた。歯科衛生士復職支援等共通プログラムの策定や研修、技術修練部門の整備と運営等に充てられる予定である。こうした施策に加え、日歯主導で歯科衛生士登録システムを構築して、復職支援や求職への対応を強化していきたい。

■ 歯科技工士の人材確保関係

歯科技工士の人材確保も大きな問題である。かつては全国で72校あった歯科技工士養成学校は、志願者数の減少に伴って廃校や廃科が相次ぎ、50校にまで減少している。今年受験者数は1,100名で、卒業生は900名くらいになるだろうと言われている。歯科技工士減少の背景には、国民の歯科保健の向上と歯科医療技術及び材料の進歩、具体的には直接法充填修復の普及等により、間接法歯冠修復や有床義歯補綴の需要自体が減少してきたことがある。一方でその労働条件が必ずしも恵まれたものではなかったことも否定できず、離職率の高さが指摘されてきたところである。歯科技工士養成学校の学生の男女比が、3：7で女性の方が多くなっているという現状も鑑みれば、歯科技工士の業務形態を大きく見直していく必要があると思われる。日歯としては、今後も歯科衛生士と同様に歯科技工士需給問題についても日本歯科技工士会と協力しながら必要な対策を講じていきたいと考えており、「日歯8020テレビ」でも歯科衛生士や歯科技工士についてのコンテンツを提供し、その業務内容を国民に分かりやすく伝えるよう努めている。

■ 医療安全への取り組み

医療安全は「医療管理」の大きな柱の一つであり、特に19年の第5次医療法改正で医療機関の管理者に医療安全確保が義務付けられて以降は、その重要性がさらに高まっている。

この分野での日歯の最近の取り組みとしては、▽歯科医療関係者感染症予防講習会（都道府県

歯の協力を得て毎年全国6会場で開催)▽『一般歯科診療ガイドラインによる院内感染予防対策Q&A』作成(27年5月)▽『歯科診療所における医療安全行動目標と推奨する対策』作成(歯科医療安全対策委員会及びWG:27年10月)▽医療事故調査制度研修会(28年10月/『三歯会報』28年12月・29年1月合併号P.26参照)▽自然放射線と診断用X線の放射線量の比較に関するポスターの作成(28年12月)一等が挙げられる。

また、▽『一般歯科診療HIV感染予防対策Q&A』(9年3月)改訂▽『歯科診療所における医療安全を確保するために』(19年6月)改訂▽日医・日薬との『医療安全全国共同行動診療所部会における行動目標』についての検討一等についても作業中である。

■ 医療法に基づく立入検査要綱の一部改正

28年末に医療法第25条第1項の規定に基づく保健所の立入検査要綱が一部改正された。これは病院への立入検査についてのものだが、診療所での立入検査でも参考とされる可能性があるので触れておきたい。注目されるのは「医療機器の清潔保持及び維持管理」の備考として、歯科用ハンドピースを含む歯科治療用器具・器材の患者ごとの交換・滅菌、さらにユニット数に対するハンドピースの本数についても言及されていることである。「歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を標榜する病院において歯科用ハンドピースを含む歯科治療用器具・器材が患者ごとの交換・滅菌が行われていること」と記載され、(歯科用ハンドピースの本数)として「歯科用ユニットの2倍以上を所持しているか確認すること」とある。原案では5倍という数字すら提示されていたが、実態と乖離した基準であると指摘したところ、2倍という記載に修正され、「診療の実情に応じて判断すること」という文言も付記された。日歯としてはこうした基準を事務的に適用するのではなく、感染予防という本来の目的を踏まえた立入検査が行われることを求めている。



■ 医療事故調査制度

医療事故調査制度は27年10月から始まっており、「医療に起因し、又は起因すると疑われる死亡又は死産であって、管理者が予期しなかったもの」が対象で、管理者には報告の義務がある(第三者機関の日本医療安全調査機構への報告とともに、支援団体となる都道府県歯科医師会にも速やかに報告する)。この制度の目的は、医療の安全を確保するために医療事故の再発防止を行うことにあり、懲罰を求めたり、責任追及を目的としたりするものではない。万が一死亡事故が発生した場合、日歯会員は医療事故調査支援団体(日歯、日歯学会、都道府県歯)より支援を受けることができる。この際に発生した費用は日歯が負担している保険(日歯院内事故調査費用保険)で支払われるため、日歯会員であれば費用負担は生じない。

■ 医療機関のウェブサイトについて

美容医療サービスに関する消費者相談の件数が増加したことに端を発し、医療機関のウェブサイトの規制強化を求める声が高まってきた。これを受け厚労省の医療情報の提供内容等のあり方に関する検討会は、「医療機関のウェブサイト等の取扱いについて」と題した取りまとめを公表した(28年9月)。取りまとめでは、虚偽・誇大等の不適切な表示に対する規制を新たに設けるべきとしたうえで、監視・是正体制を強化し実効性を確保していくことが重要であるとしている。3月10日(金)にはこれを踏まえた内容を含む医療法改正案が閣議決定され、国会に提出されている。

平成29年度 歯科助手講習会

平成29年 4月23日（日）
5月11日（木）
5月14日（日）
5月21日（日）
三重県歯科医師会館

今年も4月下旬から5月下旬にかけて、歯科助手講習会が全4日間の日程で開かれた。今年度は66名の申込みがあり、このうち61名が歯科助手認定を受け、最終日に早川副会長が代表者に履修証書を手交した。後日、日歯からも歯科助手資格認定証が交付される。

（理事・伊藤法彦 記）

第1日目：4月23日（日）



初日となるこの日は県歯・医療管理委員が講師を務め、午前は▽口腔外科・全身管理▽保存修復・ホワイトニングについて、午後は▽インプラント・補綴▽歯周病▽矯正について講義。超高齢社会における歯科医療現場で、ますます必要性が高まっている全身管理（有病者の治療時の注意点、服薬の確認等）や、近年ニーズが増えている審美治療（ホワイトニング、オールセラミッククラウン等）についても分かりやすく解説した。

第2日目：5月11日（木）



第2日目は終日にわたって各種の実習が行われた。歯科材料の取扱いについては、(株)ジーシーの歯科衛生士及び材料担当者が▽アルジネート印象・石膏練和▽セメント練和▽ラバー印象・即時重合レジン^①の扱い等に分けてそれぞれ説明。さ



らに県歯・医療管理委員が歯科医師の立場からアシスタント業務で留意すべき点について具体的なアドバイスを加えた。印象材・石膏・セメントを実際に扱うことにより、材料の性質や特性、時間的な制約を理解し、レジンの扱いの難しさや匂い

も含めて体感することによって、患者側の気持ちも理解する機会となった。また、津市中消防署の協力によりAEDの使い方を含めた普通救命講習も行われた。超高齢社会を迎えて、歯科診療所で

も有病者の診療を行う機会が増えている現在、患者の急変や偶発症に対応するためには歯科助手にも幅広い知識を備えることが期待される。

第3日目：5月14日（日）



この日は、午前中に県歯・井上理事が「保険診療と医療事務の基本」と題して講演。公的医療保険及び保険給付の仕組みから医療事務（受付業務、保険請求業務）まで詳細に解説し、保険外診療や様々な助成制度（公費負担医療制度、市町が行う助成制度）についても説明した。午後は「品格が高まる歯科助手のお仕事」と題した(株)エイチ・



エムズコレクションの安川裕美氏による接遇セミナー。良好な接遇マナーを身に付けることが患者との信頼関係構築につながることを強調し、▽挨拶の仕方・姿勢▽発声▽笑顔の作り方▽正しい言葉遣い▽上手な会話▽電話対応一等の基礎知識を幅広く紹介した。

第4日目：5月21日（日）



最終日となるこの日は、午前は早川副会長が歯学概論として、近年の歯科事情（歯科医師・歯科診療所数の推移、経営状況や歯科助手・受付の仕事等）について講義。歯科相談に寄せられている受付の対応に関する苦情事例を提示したうえで、トラブルを未然に防ぐための接遇の大切さを強調した。また、個人情報保護法についても説明し、

仕事上知り得た情報をしっかりと管理することも重要であると説いた。続いて伊藤理事が▽消毒と滅菌▽医療廃棄物の取扱い▽歯科助手の身だしなみについて講義。それぞれの器具に適した滅菌法を説明したうえで、院内感染対策について重点的に解説。自分自身を感染から守るためにも眼鏡（ゴーグル）・マスク・グローブの着用を推奨した。午後は桑名理事が歯科用器具・器械、材料、歯科用語について講義。口腔内の解剖学的な名称、歯式の取り方、治療時によく使う材料・用語を詳しく解説した他、う蝕治療・根管治療・補綴治療の具体的な流れからX線の見方までを説明。さらに患者急変時の歯科診療所スタッフの対応についても紹介した。最後に早川副会長から受講者代表に履修証書が手渡され、今年度の歯科助手講習会全日程を終えた。

第12回臨時代議員会

平成29年 3月23日（木）

三重県歯科医師会館

29年度事業計画及び予算等を承認

3月23日(木)、第12回臨時代議員会が開かれた。田所会長は、3月に開かれた日歯・第184回臨時代議員会より、予算決算特別委員会報告や代議員質問、日歯年金保険規則の改正内容等を詳しく紹介した他、17日(金)に発表された第110回歯科医師国家試験の結果等についても報告した。議事では29年度事業計画及び予算等の7議案が上程され、全て可決された。近年の三重県歯予算は、地域医療介護総合確保基金の有効活用が焦点となっており、27・28年度には地域口腔ケアステーションの立ち上げを支援するためサポートマネージャー雇用支援及び訪問診療機器整備事業を展開し成果を上げてきたが、29年度は地域口腔ケアステーションの機能充実支援を目指し、多職種連携や歯科医療専門職の資質向上に重点を置いた予算となった。



冒頭、28年4月から29年3月までの物故会員に対し黙祷を捧げた後、議事運営特別委員会からの報告が行われた。3月12日(日)に開かれた議事運営特別委員会で、本代議員会の議事運営についての協議が行われ、質疑応答や質問の取扱いについての決定事項等が示された。引き続き選挙管理委員会の中西委員長から三重県歯の次期会長予備選挙について報告があり、無投票で当選が決まった現職の田所会長に当選証書が手渡された。

会長報告



日歯会長予備選挙結果等

日歯の次期会長予備選挙では、現職の堀 憲郎会長が投票総数605票のうち594票を獲得し再選した。日本歯科医学会も現職の住友雅人会長の再選が決定。日本学校歯科医会では、川本 強氏が現職の丸山進一郎氏を破り予備選挙での当選を決めた。

日歯・第184回臨時代議員会

3月9日(木)と10日(金)の両日、日歯の第184回臨時代議員会が開かれた。堀会長は冒頭

の挨拶の中で、就任当初に掲げた優先順位が高い課題への取組みについて、その進捗状況を報告した。倫理規定策定等、一定の目途が立った課題がある一方で、ナショナルデータベースの活用検討等が新たな課題として位置付けられた。議事では、29年度事業計画や収支予算等が承認された他、日歯年金保険規則の一部改正が諮られ、終身年金の一時払い制度の追加等が決まった。代議員質問では田所会長が東海信越地区を代表して、平成30年の医療介護同時改定に向けて介護保険をさらに活かすための日歯の戦略を質した。また、稲本専務理事は個人質問の中で、地域包括ケアシステムの中で歯科が貢献していくための鍵として主治医意見書の十分な活用を挙げ、日医等との連携をより具体的に進めるよう求めた。

平成29年度歯科保健関係予算案

国の平成29年度予算案における歯科保健医療施策の内容が明らかになった。新規事業として「歯科衛生士に対する復職支援・離職防止等推進事業」に約1億円が計上されているが、県での活用は難しい。

平成29年度税制改正大綱

社会保険診療報酬に係る所得計算の特例措置及び事業税非課税の特例措置については現行のまま存続されている。

議事

第1号議案	平成29年度理事報酬に関する件
第2号議案	平成29年度監事報酬に関する件
第3号議案	平成29年度事業計画に関する件
第4号議案	平成29年度会費並びに負担金の賦課徴収に関する件
第5号議案	資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第6号議案	平成29年度予算に関する件
第7号議案	保健衛生賞受賞者に関する件

第1号議案は29年度の理事報酬、第2号議案は監事報酬をそれぞれ定めたもので、いずれも28年度と同額。第3号議案は29年度事業計画の承認を

第110回歯科医師国家試験

3月17日(金)、第110回歯科医師国家試験の結果が発表された。出願者総数は3,691名、受験者総数は3,049名、合格者総数は1,983名で、新卒・既卒合計の全体合格率は65.0%（前回63.6%）に上昇したが、合格者総数は昨年に続き2,000名の大台を割った。新卒のみの合格率は76.9%（前回72.9%）。

地域医療構想策定後の取組み

3月16日(木)、平成28年度第2回三重県医療審議会が開かれた。会合では三重県地域医療構想最終案が承認され、知事に答申された。これを受け、今後の地域医療構想の達成に向けた医療機関相互の協議と自主的な取組みの進め方についての案も示された。

子ども医療費助成に係る国保の減額調整措置

厚労省は、自治体の少子化対策の取組みを支援する観点から、平成30年度から、未就学児までを対象とする医療費助成については国保の減額調整措置を行わないことを明らかにした。

平成28年度後期高齢者歯科健診事業について

平成28年度後期高齢者歯科健診は、受診率16.3%（昨年16.5%）、受診者数6,384名（昨年5,749名）となり、受診者数の増加が認められた。

求めたもの。田所会長が基本方針を示した後、各事業の詳細について担当役員が説明した。第4号議案は29年度会費並びに負担金の賦課徴収に関す

る件。会費、入会金及び会館建設負担金等、全て28年度と同額。第5号議案は年度をまたぐ資金の借り入れや、特定資産の取り崩し等による設備投資を県に報告するものだが、29年度はともに見込まれていない。第6号議案は29年度予算に関する件。経常収益は2億3,363万円で、前年度に比べ334万円減少。主な減収は口腔ケアステーション整備事業の立上げ支援の委託金が、機能充実支援

の委託金に変化したことによる。経常費用は2億4,475万円で、前年度に比べ170万円増加した。第7号議案は保健衛生賞受賞者に関する件。保健衛生賞表彰規定に基づき、各郡市歯科医師会より、会員外の養護教諭を含めた12名が推薦された。

以上、上程された7議案は、全て賛成多数で承認された。

代議員質問



事前質問として、村田耕一代議員（松阪）より筑波大学附属聴覚特別支援学校歯科技工科の県内施設への周知が要望された。これに対して早川副会長は、28年12月の第5回郡市会長会議での長井会長（松阪）からの提案に基づいて三重県立聾学校に情報提供を行ったことを報告するとともに、今後、歯科技工士需給についても重要な課題として取り組んでいく姿勢を示した。



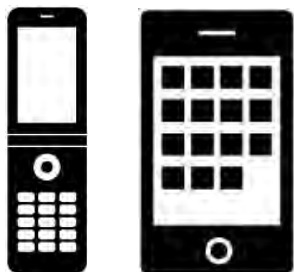
浅野代議員（四日市）が代議員会での質疑応答における時間制限の要否について質したのに対し、議事運営特別委員会・村田委員長は、委員会で検討を重ね、円滑な進行と集中した審議のために望ましい時間を設定している旨を回答し、理解を求めた。

（広報情報委員・加藤直輝 記）



◎三重県歯科医師会会員の皆様へ

いざという時、スマホや携帯で安否情報を伝える！



三重県歯科医師会では大規模災害発生に備えた安否確認システムを導入しています。登録のご協力をお願いします。

三重県歯科医師会では、大規模災害発生時に会員と本会及び各郡市歯科医師会との連絡手段の一つとして、(株)セコムトラストシステムズが提供する「安否確認サービス（e革新きずな）」を導入しています。このシステムは、メールやWeb、音声電話を利用する双方向の情報伝達・集計システムで、自然災害や新型インフルエンザによるパンデミック等の緊急事態が発生した場合に、「会員・家族の安否確認」や「対策要員の緊急招集」「安否確認後の行動指示」等、初動対応の迅速・効率化に活用されるものです。システムの運用に当たっては、会員の皆様にメールアドレスをご自身で登録していただくことが必要になりますので、ご協力をよろしくお願いします。

登録方法等は三重県歯公式ウェブサイト会員用ページに掲載されていますが、ご不明な点等がございましたら三重県歯科医師会事務局（TEL：059-227-6488）までお問い合わせ下さい。

三重県歯科医師会メールマガジンをご登録下さい



三重県歯科医師会では、会員配布物の「E-MAIL配信登録」を行っています。このシステムは登録者ごとに専用のメールアドレスを割り当て、冊子やポスターを除くほとんどの文書をデータ配信するものです。E-MAIL配信登録者には、併せてメールマガジン（メルマガ）も配信されています。メルマガは毎週水曜日に配信され、三重県歯科医師会事業の最新情報や月間スケジュール、ウェブサイトの更新情報、学術関連情報、さらに毎月の歯科関連ニュースをまとめた「News Clip」等をお届けしています。

E-MAIL配信の登録方法は三重県歯公式ウェブサイト会員用ページをご参照いただくか、三重県歯科医師会事務局（TEL：059-227-6488）までお問い合わせ下さい。また、一度登録してもパソコンの買替時等にメールソフトでのアカウントの移行が行われていないとメルマガが配信されなくなる場合があります。もし、メルマガが届かなくなっている場合には、ご使用のパソコンの設定をご確認下さい。

平成29年度事業計画

基本方針

三重県歯科医師会は、「みえ 歯と口腔の健康づくり条例」の基本理念に基づき策定された、「みえ 歯と口腔の健康づくり基本計画」の目標、具体的には全ての県民の各ライフステージにおける歯と口腔の健康づくりを、県行政、市町、関係機関・団体等と役割分担し、相互に連携しながら事業を総合的、計画的に進める。特に、地域医療構想及び地域包括ケアシステムの中で歯科医療が果たす

べき役割を見定め、地域の特性も踏まえながら、地域口腔ケアステーションを中心に的確に対応できる体制の整備に向けて尽力する。

また、良質な歯科医療サービスを提供できるように、会員個々の診療所の経営基盤の安定化に努める。

上記の方針に基づき以下のような事業に取り組む。

1 8020運動推進特別事業及び地域保健・公衆衛生事業

全身の健康づくりに寄与する口腔保健という認識の下、県民の健康増進と健康寿命の延伸に貢献することを目的として、行政及び地域住民等の組織・団体と協働を図りながら、各ライフステージに対応し、かつ地域に根ざした口腔保健活動の推進に幅広く取り組む。特に超高齢社会の到来に対応し、介護関連をはじめとした関連職種と連携しながら、在宅歯科診療、認知症対策及び介護予防の普及、推進に係る事業を実施する。また病院歯科及び医科との連携にも取り組み、あるべき地域歯科医療体制の確立に寄与する。

1. 第22回三重県歯科保健大会を開催する
2. 地域の歯科医師会と連携して、歯と口の健康週間事業（歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、よい歯の児童生徒の審査・表彰、親と子のよい歯のコンクール）を行う
3. いい歯の8020コンクールを実施する
4. 地域の歯科医師会が実施する公衆衛生関連事業を支援する
5. みえ8020運動推進員を育成する
6. みえ歯ートネット（障がい児(者)歯科保健対策）を推進する
7. 在宅歯科診療、介護予防、口腔ケア等の研修事業及び協議会等を、広く関連職種も対象として実施する
8. 学校歯科保健関連事業を行う（学校歯科保健研修会、学校歯科保健指導、学校歯科衛生大会の開催、先進地視察研修等）
9. フッ化物洗口推進事業を行う
10. 産業歯科保健関連事業を行う（事業所健診についての研修の実施並びに資料の収集、関係団体との連携、必要な調査・研究）
11. スポーツ歯科関連事業を行う（全国高等学校総合体育大会・国民体育大会）
12. 児童虐待防止事業を行う（歯科医師への啓発、学校・養護教諭との連携、児童相談所一時保護所入所者への歯科健診・歯科保健指導等。犯罪被害者支援も含むMIESの普及を図る）
13. 地域歯科医療連携を推進する（口腔ケアステーション基盤整備、連携会議等）
14. 医科歯科連携を推進する（がん患者医療連携事業、歯周病と糖尿病等、認知症対応研修会）
15. 食育を推進する（食育推進会議、食育講演会、コンクールの開催等）
16. 災害時地域歯科保健対策事業を行う（災害時地域歯科保健対策委員会、災害時地域歯科保健対策研修会の開催等）

- | | |
|--|---|
| 17. 成人歯科疾患予防事業を行う（成人疾患研修会の開催、モデル地区における歯科保健指導等） | 22. 口腔保健に関わるパンフレット等を作成する |
| 18. 妊婦歯科健康診査・歯科保健指導を推進する（母子手帳活用マニュアルの普及等） | 23. 保健文化賞・保健衛生賞に関する各事業を行う |
| 19. 三重県後期高齢者医療広域連合と協力し、後期高齢者歯科健康診査を実施する | 24. 関係諸会議、学会等に参加して、8020運動推進特別事業及び地域保健・公衆衛生事業に反映する |
| 20. 市町が実施する後期高齢者在宅訪問歯科健康診査事業（研修会の実施を含む）に協力する | 25. 郡市歯科医師会公衆衛生担当者連絡協議会を必要に応じて開催する |
| 21. 三重県が行う歯科保健事業に協力する | 26. 県民歯科疾患実態調査を三重県と協力して実施する |

2 学術研修事業

健康と福祉の増進には、医学と歯科医療の進歩発展が必要不可欠である。本会では、関係機関・各種学会等と連携し、地域医療を担う歯科医師等の生涯にわたる研修の場を不断に提供し、県民の生涯にわたる心身の健康に寄与する。

-
- | | |
|----------------------------|---|
| 1. 歯科医学に関する公開セミナーを開催する | 5. 図書及び視聴覚教材を充実する |
| 2. 日本歯科医師会が実施する生涯研修事業に協力する | 6. 関係諸会議、学会等に参加して学術研修事業に反映する |
| 3. 日本歯科医学会が実施する学術研修に協力する | 7. 歯科医学に関する学術情報の収集と管理を行い、公式ウェブサイト等を通じて県民及び会員に提供する |
| 4. 歯科医師臨床研修制度に協力する | |

3 医療提供体制整備事業

安全で質の高い歯科医療を提供できる体制を整備するために、歯科医療管理（医療事故、院内感染防止対策等の医療安全対策の推進を含む）、歯科医業経営等の分野に係る事業を行う。特に喫緊の課題であるコ・デンタルスタッフの確保、養成、質の向上については、有効かつ実施可能な施策を検討し実施する。また、大規模災害時の医療救護体制の確保のため、行政及び地域の歯科医師会との連携体制を構築する他、救急医療体制の整備にも協力する。

-
- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 医療に関する公開セミナーを開催する | 8. 医療相談、医療事故処理を行う |
| 2. 県内高等学校を対象とした歯科衛生士の職業説明会を開催する | 9. 行政及び地域の歯科医師会と連携を取り、大規模災害時の歯科活動体制の整備を行う |
| 3. 県内高等学校生徒を対象としたインターンシップ事業を行う | 10. 三重県救急医療情報システムに参加・協力する |
| 4. 県内の離職歯科衛生士を対象とした復職支援事業を行う | 11. 日歯の青色申告に関する事業に協力する |
| 5. 歯科衛生士を対象とした講習会を開催する | 12. 関係諸会議に参加して、医療提供体制整備事業に反映する |
| 6. 歯科助手講習会を開催する | 13. 郡市歯科医師会顧問税理士連絡協議会を必要に応じて開催する |
| 7. 無料職業紹介事業を行う | |

4 社会保障・医療保険関連事業

公的医療保険制度の下で、県民に歯科医療を継続的に提供できる健全な体制を維持、発展させるために、地域の歯科医療を担う保険医及び保険医療機関等を支援し、保険歯科診療に係る正確で分かりやすい情報を提供する。また行政を含む関係機関と連携を取り、歯科医学的根拠に基づいた質の高い歯科医療が提供できる環境作りに努める。

-
- | | |
|--|--|
| 1. 公的医療保険及び介護保険に関わる情報を、種々の媒体を用いて正確に分かりやすく提供する | による法的手続きが円滑に進められるよう支援する |
| 2. 公的医療保険及び介護保険に関わる講習会を行う | 6. 東海北陸厚生局三重事務所と三重県、厚生労働省の行う保険医及び保険医療機関に対する行政指導及び監査に立ち会う |
| 3. 地域の歯科医師会等が実施する社会保障・医療保険関連事業を支援する | 7. 福祉医療助成制度の円滑で効果的な運営に協力する |
| 4. 審査支払機関における審査が歯科医学的に適正に行われるよう、社会保険診療報酬支払基金三重支部及び三重県国民健康保険団体連合会審査委員会との意見交換を行う | 8. 歯科保険診療を中心に、公的医療保険制度に関わる種々の問題を中長期的な視点から検討する |
| 5. 関係団体との連絡を密に行い、保険医療機関 | 9. 関係諸会議に出席して、社会保障・医療保険関連事業に反映する |

5 障がい者歯科医療事業

地域における障がい者歯科医療の普及・充実を目的として、地域障がい児(者)歯科診療ネットワーク「みえ歯ートネット」の運営に参画する。障害者歯科センターは、同ネットワークの中核としての機能を担い、専門的な障がい者歯科医療を行う他、日本障害者歯科学会認定医の指導施設として認定医の育成や、歯科医師、歯科衛生士等の専門研修を行う。

-
- | | |
|---|--|
| 1. 地域障がい児(者)歯科診療ネットワーク「みえ歯ートネット」の運営に参画する | 3. 障害者歯科センターでは、障害者歯科学会認定医の指導施設として、認定医の育成や会員、歯科衛生士等の専門研修を行う |
| 2. 障害者歯科センターでは、年間90日の専門的な障がい者歯科診療を行うとともに、「みえ歯ートネット」の中核としての役割を担う | 4. 関係諸会議、学会等に出席して、障がい者歯科医療事業に反映する |

6 広報活動事業

機関紙としての『三歯会報』を頒布する他、公式ウェブサイト及びメールマガジン等のICTメディアも有効に活用して、歯科医療・口腔保健に関する情報を広く一般に提供する。

-
- | | |
|--|--|
| 1. 『三歯会報』を発行し、三重県歯科医師会事業に関わる情報及びその他の歯科医療に関わる有益な情報を提供する | テレビ等の一般メディアを活用し、県民を対象とした口腔保健に関する啓発活動を行うとともに、三重県歯科医師会事業に関わる情報及びその他の歯科医療に関わる有益な情報を |
| 2. 公式ウェブサイト、メールマガジン及び新聞、 | |

- 迅速に提供する
3. 三重県歯科医師会事業について報道機関への情報提供を行う
 4. 関連諸会議に出席し、広報事業に反映する
 5. 郡市歯科医師会広報担当者連絡協議会を必要に応じて開催する

7 調査研究事業

歯科医療・口腔保健に関する有益な情報を収集するとともに、必要な調査を実施し、本会事業に資するための分析、研究を行う。

-
1. 三重県歯科医師会事業の企画立案に資するため、本県の歯科医療に関わる調査研究を行う
 2. 歯科医療に関わる種々の情報の収集及びその管理を行い、公式ウェブサイト等を通じて提供する
 3. 三重県歯科医師会事業の企画立案に参画する
 4. 関係諸会議に出席し、調査研究事業に反映する

8 会員研修・福祉厚生事業

県民に良質な歯科医療を継続して提供するために、会員のスキルアップを図るとともに、コ・デンタルスタッフを含めた会員の福利厚生、健康増進に努める。

-
1. 会員研修事業
 - ① 三重県歯科医師会全体講習会（MDAセミナー）を実施する
 - ② 地域の歯科医師会が開催する学術研修事業を支援する
 - ③ 保険診療についての資料の作成及び説明会を実施する
 - ④ 保険診療に関して必要に応じて自主懇談または対象者を特定した講習会を行う
 - ⑤ 医療安全対策の推進（BLS講習会等関連講習会の開催・サーベイメーターの貸与等）を行う
 - ⑥ 地域の歯科医師会が実施する医療提供体制整備事業を支援する
 - ⑦ インターネット等により会員に様々な情報を提供する
 2. 福祉厚生事業
 - ① 会員の親睦と福祉の向上を図る
 - ② 互助会事業を行う
 - ③ 協同組合と連携し、会員及びコ・デンタルスタッフ等の福利厚生事業の充実を図る
 - ④ 国保組合と連携し、会員及びコ・デンタルスタッフ等の健康診断の推進を図る
 - ⑤ 日本歯科医師会の行う福祉事業に協力する
 - ⑥ 会員歯科診療所での永年勤続者に対する顕彰を行う
 - ⑦ 関係諸会議に出席して、福祉厚生事業に反映する

9 その他の事業（収益事業）

-
1. 会館及び駐車場等を関係団体等に賃貸する
 2. 『三歯会報』等に広告を掲載する

平成29年度

April

第1回理事会

平成29年4月6日(木)

三重県歯科医師会館

県医・三重大病院等との連携強化へ

4月6日(木)、平成29年度第1回理事会が開かれた。田所執行部では、28年4月に実施した意見交換会をはじめ様々な形で県医師会との連携を推進してきたが、稲本専務理事は29年度事業についての協議の中で、今春よりBP製剤等の骨修飾薬への対応等、より具体的な課題について県医と協力して対応する意向を示した。4月中にも両会の担当者による意見交換を始める。さらに三重大学医学部附属病院との連携についても、これまでのがん診療医科歯科連携で培った関係を踏まえつつ、より広範な連携を模索していく考え。6月に開かれる日歯の第185回定時代議員会での代議員質問に向けて理事者からの意見聴取も行われた。地区代表質問については4月に開かれる東海信越地区の会合で話し合われる。

委員会事業等報告

●社会保障委員会



【事業活動】第14回社会保険疑義事項検討会議(3/2)、郡市会社保講習会(松阪地区 3/9、桑員 3/16)、第4回社会保障委員会(3/11)【報告事項】社保通知No.1【協議事項】社保講習会の開催

●医療管理委員会

【事業活動】東海信越地区医療管理担当者連絡協議会(3/12)、第2回医療管理講習会(3/12)、平成28年度郡市会医療管理担当者連絡協議会(3/16)【出席会議】平成28年度三重県医療安全研修会(3/5)、三重県救急医療情報センター第10回定時理事会(3/10)、平成28年度三重県

後発医薬品適正使用協議会(3/15)、平成28年度第2回三重県医療安全推進協議会(3/23)【報告事項】県内歯科衛生士養成学校入学状況等、『三歯会報』4・5月号植村顧問記事、歯科におけるセルフメディケーション税制、平成29年度歯科衛生士研修会(開催案内・内容)、歯科相談(5件)【協議事項】女性歯科医師「就業支援サイト」設置及び情報登録依頼(日歯)



●学術委員会

【事業活動】第14回三重県スポーツ人の集い(3/13)【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(県歯HP)、平成29年度日本体育協会公認スポーツデンティスト養成講習会の開催案内

●福祉厚生委員会

【協議事項】マイカーローンのお知らせ送付
(愛知県医療信用組合)

●公衆衛生委員会

【事業活動】児童相談所一時保護所入所者に対する歯科健診・歯科保健指導(3/16)【出席会議】三重県学校保健会理事会(3/2)、三重県小児保健協会理事会、平成28年度地域包括ケア報告会(3/5)、平成28年度三重県公衆衛生審議会(3/14)、日学歯第3回議事運営特別委員会(3/15)、伊勢地区歯「学校歯科医研修会」(3/16)、日学歯第91回臨時総会(3/22)、三重県学校保健会第2回評議員会(3/23)【報告事項】平成29年度産業歯科医研修会(日歯)、フッ化物を配合する薬用歯磨き類の使用上の注意、後期高齢者歯科健診伝達講習会日程、『ママごはん』4月号、トヨタ車体健保組合事業所歯科健診【協議事項】緩和ケア研修会(県立総合医療センター)、各事業について(地域口腔ケアステーション連携推進ネットワーク会議、

地域口腔ケアステーション連携推進伝達講習会、モデル地区フッ化物洗口推進会議、みえ歯ートネット事業における歯科保健指導実施要項、フッ化物洗口推進事業実施要領、平成29年度学校歯科保健指導概要、口腔機能向上推進事業実施要項、神島小・中学校における歯科保健指導、学校歯科医研修会への講師派遣)、がん診療医科歯科連携推進ポスター(日歯)、後期高齢者医療広域連合による市町に対する歯科健診アンケートの結果

●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』(3/10放送)、第2回広報情報委員会(3/12)

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(4/1現在)SECOM安否確認訓練の結果(4/3)

●日歯委員会報告

【税務・青色申告委員会】平成29年度税制改正の概要(資料)

その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
2. 介護保険給付審査会報告
3. 第28回日本老年歯科医学会学術大会への参加

協議事項

1. BP製剤等に関する県医師会との協同事業
2. 三重大学との医科歯科連携事業
3. 第22回三重県歯科保健大会
4. 日本体育協会公認スポーツデンティスト平成29年度新規登録
5. 日歯・第185回定時代議員会事前質問

議題

第1号：郡市会長会議の招集並びに附議事項に関する件

第2号：平成29年度歯と口の健康週間事業実施要領

第3号：日本在宅医学会第3回地域フォーラム in 三重への後援

第4号：三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業申請

第5号：代議員並びに予備代議員の改選

第6号：入会申請(9名)／荻田匡樹 山家良輔(桑員)、稲垣慶則(四日市)、笠原亮輔(津)、西井慶田所 晋(伊勢)、西井浩介 寺本祐二(鳥羽志摩)、平澤正之(伊賀)

第7号：互助会入会申請

第8号：互助会長寿祝共済金支給

第9号：互助会給付(3/2～4/5申請分)

平成29年度

第1回郡市会長会議

平成29年4月27日（木）

三重県歯科医師会館

April

医科歯科連携の推進、新たな段階へ

4月27日（木）、平成29年度第1回郡市会長会議が開かれた。大杉副会長は4月13日（木）に行われた県医師会との打合せについて報告。両会が今後開業医レベルでの医科歯科連携を推進する方針で合意したこと、その一環として8月に合同研修会を開催する予定であること等を明らかにした。また、前田理事は5月25日（木）・28日（日）に開催する県歯・社保講習会の趣旨について説明。「審査基準を知る、個別指導を知る」を演題に掲げ、より踏み込んだ情報を会員に伝えたいとの意欲を示した。羽根常務理事は29年度の「歯と口の健康週間事業」実施要領の他、29年度の歯科保健事業について詳述し、地域包括ケアステーション機能充実のための予算等が有効活用されることに期待を寄せた。

会長報告



中医協（医療と介護の連携に関する意見交換会）

4月19日（水）、医療と介護の連携に関する意見交換の2回目の会合が開かれ、平成30年度の医療・介護同時改定に向けて、①リハビリテーション ②関係者・関係機関の調整・連携について意見が交わされた。委員として出席した日歯・遠藤秀樹常務理事は、「医療と介護の切れ目のない提供環境（制度、算定要件等）を整える必要がある」との考えを示した。また、施設と歯科との連携に向け、ケアマネジャーの口腔健康管理に対する理解を期待するとともに、「多職種連携における情報共有」のあり方にも言及した。

「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会」報告書

4月6日（木）に新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会の報告書がまとめられた。このうち、「ビジョンの方向性と具体的方策」の一項目として「医科歯科連携・歯科疾患予防の推進等」が取り上げられ、「医科歯科連携の重要性が増している」との認識が示されたことに加え、「（予防歯科のさらなる推進に）必要な財源的支援に努めるべき」「（自治体への）歯科医師、歯科衛生士等の歯科専門職の配置を行うこと等が求められる」と明記されたことも注目される（この検討会には三重県・鈴木英敬知事が構成員として参画している）。

日歯・次期理事候補者

4月26日（水）、日歯会長予備選挙当選者の堀憲郎氏が24名の理事候補者を選挙管理委員会に提出した。このうち、13名が現執行部からの続投、地区理事7名に加えて新たに指名された理事が4名となっている。理事の選任は、6月15日（木）に開かれる日歯・第185回定時代議員会で行われる。

一般会務報告

会員数

29年4月1日～26日の期間で入会9名、退会2名。現会員数863名。

県歯代議員の選出

定款に則り、各郡市会で県歯代議員並びに予備代議員を選出のうえ、6月30日までに報告されたい。次期代議員等の任期は7月1日からと

なる。

第13回定時代議員会の日程

6月25日(日)に第13回定時代議員会を開催する。

平成29年度助成金の支給

郡市会事務費として4月29日付で振り込む。

委員会事業報告

【学術】(蛭川理事)

平成29年度日歯学会専門・認定分科会日程

29年度に開催される日本歯科医学会の専門分科会及び認定分科会の日程が明らかになっている。近隣では6月に名古屋で日本歯科薬物療法学会と日本老年歯科医学会が、7月に同じく名古屋で日本外傷歯学会が、11月に豊橋で日本口腔感染症学会がそれぞれ総会や学術大会を予定している。



歯周組織再生剤「リグロス」購入に関する情報

先ごろ保険収載された歯周組織再生剤「リグロス」が6月を目途に販売開始される。購入に当たっては「リグロス製品情報サイト」(<http://regroth.jp/>)で会員登録を行い、ID及びパスワードの発行を受けたうえで「e-learning」を受講する必要があるため留意されたい。

【公衆衛生】(羽根常務理事、福森理事)

三重県後期高齢者歯科健診事業

28年度の三重県後期高齢者歯科健診事業の

登録歯科医療機関は786件(82.4%)、受診者数は6,384名で受診率は16.3%だった。健診結果を分析したところ、残存歯20本以上の割合が75～80歳の間に10ポイント以上減少しており、この期間の管理が重要だと考えられる。また健診の総合判定では「要密検・要治療」と判定された受診者が80.4%であり、健診後の受診割合は71.2%だった。

事業所歯科健診実施要綱

三重県では健診を希望する事業所と三重県歯が契約し、事業所歯科健診事業を行っているが、今般その実施要綱を改定した。他県で先行実施している事業所等は原則として費用等を統一する方針。

平成29年度歯科保健推進事業

例年通り、▽8020運動推進特別事業▽地域口腔ケアステーション機能充実事業一等が実施される予定。「在宅及び施設における高齢者口腔機能向上事業」では口腔機能向上に係る舌圧検査の導入を、「障害者歯科センター人材育成研修」では嚥下内視鏡による嚥下機能診断の研修を検討しているので注目されたい。地域口腔ケアステーションの機能充実に向けては、多職種間で連携協議を行う「地域口腔ケアステーション連携推進ネットワーク会議」、歯科医師会の中で情報共有や検討を行う「地域口腔ケアステーション連携推進伝達講習会」の開催を財政的に支援していく。その他、「学校歯科医研修会への講師派遣」も積極的に実施していきたい。

平成29年度歯と口の健康週間事業

6月4日(日)から10日(土)まで、歯と口の健康週間として各種事業を実施する。▽親と子のよい歯のコンクール▽よい歯の児童生徒の審査並びに表彰▽歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール等。

学校歯科保健指導

県内小・中学校の児童生徒を対象としたもの。実施期間は29年10月から30年2月。学校が学校歯科医の理解を得たうえで三重県歯に申し込むこととなっている。

フッ化物洗口推進事業実施要領

実施要領は例年通りで、実施期間は29年9月1日から30年3月31日まで。

高濃度フッ化物配合薬用歯磨剤

従来、フッ化物を配合する薬用歯磨き類で最も高濃度なものは1,000ppm配合のものだったが、3月にこれを超えるフッ化物を配合するものが医薬部外品として承認された(上限は1,500ppm)。フッ素濃度が1,000ppmを超えるものについては、6歳未満の子どもには使用を控え、6歳未満の子どもの手の届かない所に保管すること等の表示が求められている(5月にサンスター(株)より「バトラー エフペーストα(アルファ)」としてフッ化物1,450ppm配合の商品が発売された)。

いい歯の8020表彰実施要領

実施要領は例年通り。審査票を一部改訂。
三重県地域口腔ケアステーションサポートマネージャー雇用事業申請状況

県下で12名が前年度より継続雇用される。

後期高齢者在宅訪問歯科健診事業

3月29日付で厚労省から都道府県知事あてに「平成29年度後期高齢者医療制度事業実施要綱」が示された。三重県でモデル事業として実施してきた訪問歯科健診についても、高齢者の低栄養防止・重症化予防の推進を目的とした事業として位置付けられている。対象者は在宅の要介護者で要介護3以上とされている。

【社会保障】(前田理事)



平成29年度社保講習会

平成29年度社保講習会を5月25日(木)の午後、28日(日)午前及び午後の3回に分けて開催する。郡市会ごとに日時を割り振るが、個別に受講日時の変更は受け付ける。

【医療管理】(桑名理事)

県内歯科衛生士養成学校生徒数

県内歯科衛生士養成学校の状況としては、今年度の1年生が休学から復帰した1名を含め合計で90名、卒業予定者は73名である。

ダイレクトFAX等による案内(日歯より注意喚起)

日歯から歯科医療機関に対するダイレクトFAX等による案内について注意喚起があった。案内されている内容の全てが問題となるわけではないが、行政や歯科医師会が関与しているように装っているもの等、適切な判断が難しくなる傾向にあるので十分に注意されたい。

平成29年度歯科衛生士職業説明会

6月8日(木)に各養成学校との共催で歯科衛生士職業説明会を開催する。学校歯科医等を通じて各高校への説明会の周知に協力されたい。

平成29年度歯科衛生士研修会

6月11日(日)、29年度歯科衛生士研修会を開催する。長野県開業の金子至氏が「歯周病は歯科衛生士で決まる!～歯科衛生士のスキルアップに必要なこと～」と題して講演する予定。

Yahoo!/Googleディスプレイ広告

5～7月にYahoo!とGoogle(YouTube含む)に歯科衛生士養成学校のオープンキャンパス等の情報を提供するスマートフォン向けのウェブ広告を出す。

医療事故調査制度の現況報告

医療事故調査制度の現況報告では2月、3月の医療事故の報告はそれぞれ29件、22件だが歯科での報告はない。

ゴールデンウィーク中の郡市会ごとの診療状況

ゴールデンウィーク中の各郡市会の対応は、津・松阪・伊勢は休日診療所で、南紀・伊賀は輪番で対応。それ以外はかかりつけ歯科医への問い合わせとなっている。

医療事故調査制度状況報告（2月・3月）

3月末で、医療事故報告は累計568件、院内調査結果報告は累計330件、相談件数は累計2,807件、センター調査の依頼件数は累計28件。

【広報情報】（太田常務理事）

「歯と口の健康週間事業」の会報記事について

『三歯会報』8・9月号に、各郡市会での「歯と口の健康週間事業」についての記事を掲載する。併せて各会長からのメッセージも掲載する予定。

その他の報告



医科歯科連携事業

28年11月の中日新聞に「骨粗しょう症のBP系薬剤服用／抜歯で顎の骨が壊死 歯科医への周知徹底を」と題した記事が掲載され、県民へ誤解が広がることが懸念されてきたところである。今般、県医師会と意見交換を行い、BP製

剤等の骨修飾薬に限らず、抗血小板薬・抗凝固薬等も含め、開業医レベルでの医科歯科連携、情報共有を図る方針で合意した。8月にも第1回合同研修会を開催する予定。

SECOM 安否確認システム訓練結果

4月3日(月)にSECOM安否確認システム訓練を実施したところ安否報告者は861名中535名(62.14%)だった。メールアドレスを登録しているにもかかわらず報告がない会員は通常使用していないアドレスを登録している可能性があるため、再登録することを検討されたい。

SECOM 安否確認システム登録状況

4月21日(金)現在の登録状況は会員858名中769名(89.63%)。

(広報情報委員・呉山章浩 記)



平成29年度

May

第2回理事会

平成29年5月11日（木）

三重県歯科医師会館

8月に県医との合同研修会を開催することを決定

5月11日(木)、平成29年度第2回理事会が開かれ、県医師会との合同研修会を8月6日(日)に開催することを決定した。講師は三重大学医学部附属病院循環器内科の山田典一病院教授と同歯科口腔外科の新井直也教授。公衆衛生委員会からは、8月24日(木)の午前にフッ化物応用研修会を、同日午後三重県学校歯科衛生大会を開くことが、学術委員会からは4月20日(木)に愛知学院大学歯学部附属病院との医療連携協定に調印したことが報告された。同日に運営委員会の初会合も開かれ、今後、運営規則等が話し合われる。広報情報委員会は、6月1日(木)に熊谷理事が三重テレビの地域情報番組『とってもワクドキ!』に生出演することを報告した。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【出席会議】第15回社会保険疑義事項検討会議(4/6)、歯科医療機関指導・監査等実施計画の事前打合せ(4/13)、愛知学院大学歯学部三重県同窓会総会(4/23)、歯科医療機関指導・監査等実施計画の打合せ(4/27)【報告事項】社保講習会(5/25、28)再通知

●医療管理委員会

【事業活動】歯科衛生士職業説明会事前打合せ(4/6)、第1回歯科助手講習会(4/23)【報告事項】新卒歯科衛生士求人依頼、歯科衛生士PRポスター掲示依頼、職場体験・インターンシップ・ジョブシャドウイング受入事業所データベースへの登録、歯科衛生士職業説明会(6/8)、歯科衛生士復職支援講習会(9/3)、歯科衛生士養成学校入学時アンケート結果、三重県進路協総会でのPR活動(5/9)、「患者さんの個人情報の利用目的の明示」に係る院内掲示ポスター(日歯)、女性歯科医師を応援する就業支援サイト用求人票(日歯)、歯科相談(1件)

●学術委員会

【事業活動】県医師会との連携に関する打合せ

(4/13)、愛知学院大学歯学部附属病院との医療連携協定書調印式及び第1回運営委員会(4/20)、平成29年度学術委員・郡市会学術担当者合同連絡協議会(4/27)【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(HP)、平成29年度学術研修会助成事業、平成29年度学術関係の年間スケジュール(案)、愛知学院大学歯学部附属病院との連携研修会(11/30)【協議事項】愛知学院大学歯学部附属病院との連携方法



●福祉厚生委員会

【協議事項】乗馬クラブクレイン三重のお知らせ、歯科医師応援ファンドチラシ(愛知県医療信用組合)

●公衆衛生委員会



【事業活動】平成29年度三重県・三重県教育委員会・三重県歯科医師会・三重県歯科衛生士会公衆衛生各事業打合せ、平成29年度公衆衛生委員・郡市会公衆衛生担当者合同連絡協議会（4/13）、平成29年度全国学校保健・安全研究大会三重県実行委員会第2回総会（4/27）、三重県学校保健会平成29年度第1回理事会（5/11）
 【報告事項】みえ こどもの城「歯とお口の健康づくりキャンペーン」展示協力、親子体験教室

「びっくりサイエンス」（7/23）、日学歯「学校歯科医生涯研修制度規程及び施行細則」の改定、『ママごほん』夏号、平成28年度郡市会公衆衛生事業に関するアンケート結果、いい歯の8020審査依頼の送付、フッ化物応用研修会（8/24）、三重県学校歯科衛生大会（8/24）、歯科保健活動に関するアンケート調査、8020運動・口腔保健推進事業実施要綱の一部改正（日歯）、歯科医院におけるスタッフ向け認知症対応力向上研修資料（DVD）

●広報情報委員会

【事業活動】FM三重『はぴはぴ子育て』（4/14放送）【出席会議】三重テレビ『とってもワクドキ！』打合せ（5/11）【報告事項】平成28年度鈴鹿市後期高齢者在宅訪問歯科健診の分析結果

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況（4/28現在）

その他の報告

1. 障害者歯科センター報告
 - ・第34回日本障害者歯科学会学術大会ポスター発表（10/28・29）
 - ・インシデント・アクシデント報告
2. 介護保険給付審査会報告
3. 第3回東海信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会（4/15）



議題

- 第1号：次期役員選挙の公示について
- 第2号：日歯代議員及び予備代議員選挙の公示について
- 第3号：第1回医科・歯科合同研修会の開催並びに講師について（8/6）
- 第4号：入会申請／関本多寿子（津）、松田 亮（四日市）
- 第5号：互助会入会申請
- 第6号：互助会給付（4/6～5/10 申請分）

医療費控除の申告手続の改正について

Q：平成29年分の所得税の確定申告から医療費控除の申告手続が改正されたと聞きました。その改正の内容を教えてください。

A：平成29年分所得税の確定申告から医療費控除又は特定一般医薬品等購入費を支払った場合の医療費控除の特例（セルフメディケーション税制）の適用を受ける者は、現行の医療費の領収書又は医薬品購入費の領収書の添付又は提示に代えて、「所得税法施行規則等で定める事項を記載した医療費の明細書・医薬品購入費の明細書（以下「医療費等の明細書」といいます）」又は「医療保険者等の医療費通知書」を確定申告書に添付しなければならないこととされました。

この場合において、申告者は確定申告期限等から5年間、医療費控除に係る医療費の領収書又は医薬品購入費の領収書を保存し、税務署長の求めに応じて提示又は提出しなければなりません。

ただし、次に掲げる場合の医療費の領収書は、申告者において保存の必要はなく、税務署へ提示又は提出を要しません。

- ① 確定申告書の提出の際に、医療保険者等から交付を受けた医療費通知書を医療費の明細書として添付した場合におけるその医療費通知書に係る医療費の領収書
- ② 電子申告を行った際に、医療保険者等から通知を受けた医療費通知情報でその医療保険者の電子署名及びその電子署名に係る電子証明書が付されたものを医療費の明細書として送信した場合におけるその医療費通知情報に係る医療費の領収書

この改正を受けて、健康保険法、国民健康保険法、船員保険法、高齢者の医療の確保に関する法律の施行規則等の一部改正が行われ、医療保険者等が交付する医療費通知書の様式が定められました。「医療保険者等が交付する医療費通知書」には、①医療費通知の交付を受ける者の名前、②診療を受けた年月日、③診療を受けた者、④病院、診療所、薬局等の名称、⑤支払った医療費の額、⑥保険者の名称を記載しなければなりません。

なお、医療保険者等が交付する医療費通知書には、診療を受けた者が保険適用の診療で支払った医療費の額が記載され、保険適用外診療で支払った医療費の額については記載されません。したがって、保険適用外診療で支払った医療費の額については申告者が、その領収書から医療費等の明細書を作成しなければなりません。また、保険適用外診療で支払った医療費の額の領収書は確定申告期限等から5年間保存しなければなりません。

申告者自身が作成する「医療費等の明細書」に記載すべき事項については、今後の所得税法施行規則の改正において、現行の医療費の明細書の①医療を受けた者又は医薬品を使用した者、②病院・薬局などの所在地・名称、③治療内容・医薬品名（特定一般医薬品等とそれ以外の医薬品の区分）、④支払った医療費の額や医薬品の購入費の額、⑤保険で補填される金額などを中心に国税庁で検討される予定です。

（注）この改正の経過措置として、平成29年分から平成31年分までの確定申告については、現行の「医療費の領収書又は医薬品購入費の領収書」の添付又は提示による「医療費控除又はセルフメディケーション税制」の適用もできます。



4月・5月会務日誌

Association Diary

4月

- 2日 日本子ども虐待防止歯科研究会理事会に羽根常務理事出席
- 4日 常務理事会開催
- 6日 第1回理事会、第15回社会保険疑義事項検討会議開催
三重県立公衆衛生学院入学式に田所会長出席
- 13日 平成29年度三重県・三重県教育委員会・三重県歯科医師会・三重県歯科衛生士会公衆衛生各事業打合せに中井副会長、羽根常務理事、福森理事、橋本理事、伊東理事出席
平成29年度公衆衛生委員・郡市歯科医師会公衆衛生担当者合同連絡協議会開催
- 15日 第3回東海信越地区歯科医師会会長・専務理事連絡協議会開催
- 20日 愛知学院大学歯学部附属病院・三重県歯科医師会医療連携実施協定書調印式・平成29年度第1回愛知学院大学歯学部附属病院医療連携運営委員会に田所会長、早川副会長、稲本専務理事、蛭川理事、伊藤理事出席
- 23日 第1回歯科助手講習会開催
- 27日 第1回郡市会長会議、平成29年度学術委員・郡市歯科医師会学術担当者合同連絡協議会開催
平成29年度全国学校保健・安全研究大会三重県実行委員会第2回総会に羽根常務理事出席

5月

- 9日 常務理事会開催
- 11日 第2回理事会、第2回歯科助手講習会開催
三重県学校保健会平成29年度第1回理事会に羽根常務理事出席
- 13日 第17回日本スポーツ・健康づくり歯学協議会が福井県で開催され福森理事、蛭川理事出席
- 14日 第3回歯科助手講習会開催
第11回特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会総会に田所会長出席
- 15日 三重県救急医療情報センター第11回定例理事会に早川副会長出席
- 17日 生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業連絡協議会が東京都で開催され羽根常務理事出席
- 18日 第22回三重県歯科保健大会第1回実行委員会、第1回食支援担当者会議、第10回みえ歯ートネット運営協議会開催
伊勢地区歯科医師会大規模災害時の身元確認等の講習会に熊谷理事出席
- 19日 岩手県歯科医師会会長招宴に田所会長出席
- 20日 岩手県歯科医師会創立100周年記念式典・祝賀会に田所会長出席
熊本県歯科医師会創立110周年記念講演会・式典・祝賀会に大杉副会長出席
口腔健康管理に関するシンポジウムに羽根常務理事出席
- 21日 第4回歯科助手講習会開催
三重県立子ども心身発達医療センター開設記念式典に中井副会長出席



- 25日 社保講習会、レセプト請求に関するベンダーへの周知講習会開催
神島小学校・中学校における歯科保健指導に福森理事、橋本理事出席
- 26日 第124回都道府県会長会議に田所会長出席
- 28日 社保講習会開催

- 30日 常務理事会開催
三重県救急医療情報センター第6回定時評議員会に田所会長出席
平成29年度第1回三重県がん対策戦略プラン策定検討部会に羽根常務理事出席

会員消息 Member's News

本会会員数 (6月1日現在)

正会員第1種 (一般)	695名
正会員第2種 (勤務)	26名
正会員終身	131名
準会員第3種 (法人)	8名
準会員第4種 (直属)	2名
長期の疾病等の会員	2名
計	864名

日歯会員数 64,826名 (4月30日現在)

新入会員



関本多寿子先生 (5. 1付)
 診 津市美杉町八知5580-2
 (医) 和光会
 美杉歯科診療所
 電 話 059-272-1118
 F A X 同 上
 (津)



松田 亮先生 (5. 11付)
 診 四日市市日永西3丁目
 1-16
 日永歯科
 電 話 059-345-9933
 F A X 同 上
 (四日市)

診療所廃止

小林明寿先生 (鈴鹿)

謹んでおくやみ申し上げます



加藤敬介先生 (四日市)
 去る4月11日、お亡くなりになりました。
 享年70歳



松田匡房先生 (四日市)
 去る4月18日、お亡くなりになりました。
 享年61歳



新入会員プロフィール

Rookie's Profile

せきもと たずこ
関本多寿子先生（津）

1. 学歴

高校 私立金光八尾高等学校

大学 松本歯科大学（平成12年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成13年 4月 大阪歯科大学総合診療科

平成15年 5月 医療法人和光会

3. メッセージ

私は、大学を卒業後、大阪歯科大学での研修を経て平成15年に医療法人和光会天理駅前歯科診療所で働くことになり、そこでは20年近く訪問歯科に携わっている諸井英二理事長の下で技術以上の多くを学ぶこととなりました。

平成17年からは美杉歯科診療所で勤務して

います。美杉町は山間部で自然豊かな地域がありますが、住民の高齢化や過疎化がかなり進んでいます。最近では「限界集落」という言葉を耳にしますが、少しずつ近づいているようにも感じています。

そのような中で、訪問歯科を学んだ私にとっては、高齢者のお口の機能の問題や食べることに関する問題を少しでも改善したい、そのためには地域の人々と交流を深め、多職種と連携した取組みを進めていきたいと考えています。

この度の入会に当たり、会員先生方にも是非ご指導いただきますようお願い申し上げます。

まつだ りょう
松田 亮先生（四日市）

1. 学歴

高校 私立高田高等学校

大学 広島大学（平成24年度卒業）

2. 卒業後の研修先・勤務先

平成25年 4月 国立長寿医療研究センター

平成26年 4月 名古屋大学医学部附属病院

3. メッセージ

はじめまして。この度、入会いたしました松田 亮と申します。

四日市で育ち、広島大学を卒業いたしました。

父の松田匡房が今年の4月に亡くなったため、急遽、日永歯科を承継することとなりました。





父のように地域の人々のために貢献していく所存です。また、歯科医師会の活動に積極的に参加して更なる研鑽を積んでいくことでより良い歯科医療を提供していきたいと思えます。

趣味はカメラで休日にはドライブがてら風

景写真を撮影しに行くこともあります。また、大学時代はバレーボール部に所属し、社会人になってからはフットサルをしています。

まだまだ未熟者ですので、至らぬ点が多いかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。

障害者歯科センター診療状況

4月

診療日	8日
診療担当者	常勤1名、非常勤6名 内訳・会員2名、大学4名
延患者数	129名

5月

診療日	6日
診療担当者	常勤1名、非常勤6名 内訳・会員2名、大学4名
延患者数	113名



三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	950円
収支日計表	(100枚綴)	620円
患者日計表	(100枚綴)	620円
領収書	(100枚綴)	470円
その他、保険診療情報提供文書各種等		



告知板

Information

第39回三重県歯科医師会ゴルフ大会開催のご案内

三重県歯科医師会ゴルフクラブ 会長 笠原浩義

盛夏の候、諸先生方におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例となっております標記大会を、下記のとおりタートルエースゴルフ倶楽部にて開催いたします。今年も沢山の方々と楽しくゴルフができればと思っております。ご多忙の折とは存じますが、皆さまお誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さいますようご案内かたがたお願い申し上げます。

記

1. 日 時：平成29年9月28日（木）午前8時9分アウトイン同時スタート
2. 場 所：タートルエースゴルフ倶楽部
三重県亀山市山下町1055 TEL 0595-83-1212
3. 参加費：一人 5,000円（表彰式 会食、ソフトドリンク付）
4. プレー代：ビジターキャディー付 約13,200円
 ビジターセルフ 約10,500円（昼食、茶店 ワンドリンク付）
 他は各人清算
5. 競技方法：18ホールストロークプレー HDCPはダブルペリア方式（年長者上位）
 使用ティーは白マーク。70歳以上シニアティー（ゴールド）、
 レディースティー（赤）使用可能。
 その他はJGA及びローカルルールに準拠。
6. 賞 品：優勝～15位、飛び賞、シニア賞、レディース賞、ニアピン賞、ドラコン賞
 ブービー賞、ブービーメーカー賞、ベストグロス賞
 参加賞には「松茸」をご用意いたします。
7. 参加資格：三重県歯科医師会会員及び勤務医
8. 申込方法：各地区でお取りまとめいただき、申込用紙にて8月16日（水）までに
 下記までお願いいたします。
9. 申 込 先：〒515-3131 三重県津市白山町藤176
 カガミ歯科診療所 鏡 忠明
 TEL 059-262-3066 FAX 059-262-0257

*申込み時にキャディー付、またはセルフプレーのどちらを希望されるのかお申し出下さい。



会員の広場 Member's Plaza

第72回東海4県歯科医師親善ゴルフ大会開催される

5月25日(木)、第72回東海4県歯科医師親善ゴルフ大会が葛城ゴルフ倶楽部・山名コース(静岡県)にて開催されました。

今大会には総勢101名(静岡県42名、愛知県18名、岐阜県26名、三重県15名)の会員が参加し、LPGAツアー「ヤマハレディースオープン葛城」が例年開催されている屈指のトーナメントコースを満喫しました。

心配されていた雨は明け方に上がり、多少の小雨はありましたが、日中は曇天で快適にプレーすることができました。



三重県からはシニア賞・桃井房雄先生、ドラコン賞・笠原浩義先生 西本康助先生、ニアピン賞・鯉江正人先生が獲得されました。成績は以下のとおりです。

個人の部			グロス	HDCP	ネット
優勝	森本太輔先生	(岐阜)	89	18.0	71.0
2位	松浦 周先生	(愛知)	92	20.4	71.6
3位	梶田 正先生	(愛知)	97	25.2	71.8
4位	石田正彦先生	(静岡)	90	18.0	72.0
5位	小川恵治先生	(静岡)	100	27.6	72.4
ベストグロス					
	喜田賢司先生	(静岡)	80		
団体の部					
優勝	愛知県		362.4		
2位	静岡県		364.2		
3位	岐阜県		365.6		
4位	三重県		374.4		

来年73回大会は愛知県での開催を予定しています。

多くの先生方のご参加をお待ちしています。

(津・鏡 忠明 記)



互助会の現況

Mutual Aid Association

(29年 4月1日～30日)

(29年 5月1日～31日)

第1部 (疾病共済)

入会 9名 退会 2名 累計 718名

収入累計	191,324,808円	{ 繰越 191,324,808円 入金 0円
------	--------------	----------------------------

支 出 5,800,000円

残 高	185,524,808円	{ 定期 138,000,000円 普通 47,524,808円 国債 0円
-----	--------------	--

療養給付：0名

死亡給付：0名

第1部 (疾病共済)

入会 1名 退会 0名 累計 719名

収入累計	185,539,514円	{ 繰越 185,524,808円 入金 14,706円
------	--------------	---------------------------------

支 出 3,000,000円

残 高	182,539,514円	{ 定期 138,000,000円 普通 44,539,514円 国債 0円
-----	--------------	--

療養給付：1名

死亡給付：3名

第2部 (火災・災害共済)

入会 9名 退会 2名 累計 725名

収入累計	162,744,161円	{ 繰越 162,744,161円 入金 0円
------	--------------	----------------------------

支 出 0円

残 高	162,744,161円	{ 定期 110,690,000円 普通 52,054,161円
-----	--------------	-------------------------------------

第2部 (火災・災害共済)

入会 1名 退会 0名 累計 726名

収入累計	162,744,545円	{ 繰越 162,744,161円 入金 384円
------	--------------	------------------------------

支 出 0円

残 高	162,744,545円	{ 定期 110,690,000円 普通 52,054,545円
-----	--------------	-------------------------------------

平成28年12月診療分歯科診療報酬状況 (三重県)							
		社 会 保 険			国 民 保 険		
		1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数	1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数
一 般	本 人	1.6	665.5	1,084.6	1.7	658.6	1,120.1
	家 族	1.5	622.6	909.3			
後期高齢者医療		—	—	—	1.8	702.9	1,288.3

平成29年 1 月診療分歯科診療報酬状況 (三重県)							
		社 会 保 険			国 民 保 険		
		1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数	1 件 当 日 数	1 日 当 点 数	1 件 当 点 数
一 般	本 人	1.6	652.8	1,052.0	1.7	642.2	1,081.2
	家 族	1.4	617.2	891.1			
後期高齢者医療		—	—	—	1.8	671.6	1,190.1

国保組合の現況

平成29年2月／3月

保険給付状況

29年2月

		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,803	43,804,430	30,980,304
	累計	39,970	528,195,045	373,225,703
療養費	当月分	102		408,262
	累計	1,119		4,183,511
高額療養費	当月分	23		2,014,311
	累計	323		31,186,886
移送費	当月分	-		-
	累計	-		-
出産育児一時金	当月分	2		840,000
	累計	41		17,204,000
葬祭費	当月分	-		-
	累計	4		480,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	-		-
	累計	2		3,300
傷病手当金	当月分	15		476,000
	累計	188		7,753,000

29年3月

		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	4,204	52,411,956	37,031,427
	累計	44,174	580,607,001	410,257,130
療養費	当月分	78		259,866
	累計	1,197		4,443,377
高額療養費	当月分	25		1,676,921
	累計	348		32,863,807
移送費	当月分	-		-
	累計	-		-
出産育児一時金	当月分	5		2,100,000
	累計	46		19,304,000
葬祭費	当月分	-		-
	累計	4		480,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	1		2,700
	累計	3		6,000
傷病手当金	当月分	19		764,000
	累計	207		8,517,000

収支状況

28年度29年3月累計

区分	金額
歳入合計	1,363,689,051
歳出合計	993,733,868
収支差引残高	369,955,183

29年度29年4月累計

区分	金額
歳入合計	69,310,114
歳出合計	7,048,482
収支差引残高	62,261,632

28年度29年4月累計

区分	金額
歳入合計	1,372,683,120
歳出合計	1,072,226,203
収支差引残高	300,456,917

被保険者異動状況

29年4月30日現在

区分	被保険者数	前月との比較
組合員	2,753	61
家族	1,494	△ 44
計	4,247	17

29年5月31日現在

区分	被保険者数	前月との比較
組合員	2,777	24
家族	1,480	△ 14
計	4,257	10

編集後記

Editor's Note

約9年前、娘が生まれた頃、顎口腔育成治療に出会いました。その時は口腔外科で病院歯科勤務でしたが、この治療は将来の娘のためになると確信し、ぼちぼち勉強を始めました。そこで、顎が正常に成長しない原因を知りました。生後間もない赤ちゃんの顎模型を採り、小児科医師、助産師とともに研究を行っているグループがあります。生後3か月で既に、顎の成長に差が出るようです。母乳を与える時の母親の姿勢、立ち上がるまでの筋力、座り方、嚥下、咀嚼、呼吸の仕方等々、知っ

ていても防ぐことは不可能と思えるほど、原因は多岐に及びます。根本の原因は、動物として当たり前にすべきことができない環境であるということです。案の定、3年前の娘も、放っておけば叢生になるほど、舌房が狭い状態でした。1歳半・3歳児あるいは学校歯科健診等に行く度に、顎が小さく姿勢が悪く、口呼吸が疑われる子があまりにも多いことに愕然とします。子どもたちの将来が心配です。

(広報情報委員・川村英司 記)

三重県歯科医師会無料職業紹介所について

三重県歯科医師会では厚生労働大臣の許可を受けて、歯科医療技術者（歯科医師・歯科技工士・歯科衛生士・歯科助手）を対象とした無料職業紹介事業を行っています。職業紹介を希望される場合、求職は働く意欲がある方なら常勤、パートを問いません。申し込みにより希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話をいたします。

●求職者の場合

- ・ 所定の求職票に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、求人者の閲覧をする。
- ・ 条件が合えば面接を行う。

●求人者の場合

- ・ 所定の求人申込書に必要事項を記入し、下記の無料職業紹介所に提出する。
- ・ 来館または電話にて、条件の合った求職者を探す。
- ・ 合否結果については、当紹介所に結果報告する。



※ 下記へ連絡いただければ関係書類を送付します。

公益社団法人 三重県歯科医師会
 歯科医療技術者等無料職業紹介所
 〒514-0003 津市桜橋2丁目120-2
 TEL 059-227-6480

詳しくはWEBで！

[検索](#) [三重県歯科医師会無料職業紹介所](#)

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、平成18年6月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまといわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

●「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院 対応マニュアル ― 子供たちを犯罪被害から守るために ―」を作成しています。ご活用下さい。



三重県歯科医師会会員の皆様へ

わが国では少子高齢化が進む一方で、乳幼児期、学童期の子どもたちへの虐待が年々増加しています。三重県歯科医師会が平成17年度に三重県健康福祉部の協力を得て実施した要保護児童歯科調査結果では、

虐待が疑われる要保護児童においては、う蝕経験者率が有意に高く、う蝕になった歯が処置されている率が有意に低いという結果が出ています。

歯科医療従事者は、乳幼児集団歯科健診や歯科相談、学校歯科健診、歯科診療所等において、日常的に子どもや養育者に接する機会が多く、専門家の立場から虐待の早期発見に関わるべきことが提唱されています。

本会と三重県では8020運動推進特別事業の一環として、子育て支援の観点から「歯科医の立場からの児童虐待防止と子育て支援（児童虐待防止マニュアル）」を作成しています。児童虐待の早期発見・予防の一助となるよう取り組んでいくために、ぜひご活用下さい。



医療後継者育成は中学校から

「全寮制」で「知るよろこび・学ぶ楽しさ」を実感

News 2018年4月より医・歯学部進学希望者向け「医進・特進コース」スタート



活躍する本校卒業生



スーパーイングリッシュコース（中学校）

学校説明会／個別相談会

本校HP、お電話よりお申込みください。

中学校：9月10日(日)・11月19日(日)

高等学校：10月28日(土)・11月23日(祝)・12月9日(土)

※授業や寮の見学は随時可能です。入試室までお問合せください。

創立以来の輝かしい医・歯学部合格実績

医学部				歯学部			
大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数	大学名	人数
東京大学理科Ⅲ類	3	慶應義塾大学	3	北海道大学	2	日本歯科大学・生命歯、新潟歯	209
北海道大学	3	自治医科大学	2	東北大学	1	昭和大学	62
東北大学	5	産業医科大学	2	九州大学	2	愛知学院大学	18
名古屋大学	3	日本医科大学	38	東京医科歯科大学	6	大阪歯科大学	19
大阪大学	1	東京慈恵会医科大学	21	新潟大学	3	北海道医療大学	46
九州大学	1	順天堂大学	57	岡山大学	1	岩手医科大学	41
東京医科歯科大学	1	昭和大学	65	広島大学	2	奥羽大学	104
千葉大学	7	日本大学	78	徳島大学	1	明海大学	165
筑波大学	2	東京医科大学	57	長崎大学	2	神奈川歯科大学	90
群馬大学	7	東邦大学	87	鹿児島大学	2	鶴見大学	98
新潟大学	7	東京女子医科大学	15	九州歯科大学	4	松本歯科大学	82
防衛医科大学校	10	獨協医科大学	134	東京歯科大学	84	朝日大学	35
上記以外、国公立 18 大学 74 名、私立 18 大学 879 名				日本大学・歯、松戸歯	156	福岡歯科大学	2

※数字は1982年～2017年度の延べ人数※順不同

高校生(通学制・寮制)も募集しています。

学校法人 秀明学園

秀明中学校・高等学校

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡4792 ☎ 049-232-3311(入試室直通) <http://www.shumei.ac.jp>

秀明学園

検索

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための「相互扶助」の金融機関です。

昭和37年設立の「歯科医の歯科医による歯科医のための組合」です。

●ご預金●

- ★市中銀行より利率の高い預金
普通預金、積立預金、定期預金
- ★将来の貯蓄にメリット大 など
- ★キャッシュカードは全国の金融機関並びに大手コンビニATMでも引き出しできます

●ご融資●

- ★歯科医師会入会金ローン
- ★開業資金
- ★運転資金、設備資金
- ★自動車ローン
- ★後継者の学資ローン など



詳細はホームページをご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<http://www.iryoushin.com/>

愛知県医療信用組合

〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目5番18号
愛知県歯科医師会館6階

TEL : (052) 962-9569 FAX : (052) 951-8651

いつも貴金属リサイクルの最先端に私たちはいます。



YOKOHAMA METAL CO., LTD.

横浜金属商事株式会社

本社/〒252-0132 神奈川県横浜市緑区橋本台3-5-2 映の原工業団地内
Tel:042-774-5481 Fax:042-773-7266
本社・仙台・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌(営)・函館(営)・釧路(営)・北陸(営)・四国(営)



ホームページ

0120-14-4580

<http://www.yk-metal.com/>

純金積立(ゴールドクラブ)

横浜金属ゴールドクラブで純金積立をしませんか?
(横浜金属株式会社運用)



ジュエリー買取り

貴金属精錬グループだからこそどこよりも高値買取致します。

歯科材リサイクル

歯科医院・技工所様から発生する歯科材スクラップを受託精練回収及び買取致します。

インターネット特典

ホームページをご覧になられたお客様

精練基本料金を無料サービス

納期
20日以内のお支払い

- 一般社団法人 日本経済団体連合会会員(横浜金属株)
- 一般社団法人 日本金地金流通協会正会員(横浜金属株)
- L.M.E.(ロンドン金属取引所)銀地金公認ブランド
- (株)東京商品取引所 銀地金受渡共用指定ブランド
- (株)東京商品取引所 銀地金指定鑑定業者
- 日本工業規格認証取得工場(銀地金)
- ISO 9001 認証登録(横浜金属株)
- ISO 14001 認証登録(横浜金属商事株環境リサイクル部仙台事業所)

横浜金属グループは貴金属リサイクルを通じて地球環境の保全に貢献しています。



SOMPO
ホールディングス
保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜の三重県オリジナル自動車保険

安心・安全のお参りつき

『THE クルマの保険 三重』



赤目四十八滝 (写真提供:赤目四十八滝渓谷保勝会)



四日市工場夜景 (写真提供:四日市観光協会)



伊勢神宮 (写真提供:神宮司庁)



賢島 (写真提供:伊勢志摩国立公園協会)

損保ジャパン日本興亜は、三重県と「地域産業の支援等に関する包括協定」を締結し、三重県民の皆さまの安心・安全なくらしの実現に向け、協働した取り組みを行っています。

特長① 安心補償

地震・噴火・津波
車両全損時一時金特約が付帯されます！

特長② 交通安全

安心・安全のお参りつき！ 全国初！

特長③ 社会貢献

三重県の災害ボランティア活動の
支援に貢献できます！ 全国初！

【引受保険会社】



SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、挑む。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

三重支店 津支社 〒514-0004 三重県津市栄町3-115
損保ジャパン日本興亜ビル6F TEL 059-226-3011
公式ウェブサイト <http://www.sjnk.co.jp/>

- ★本取組みは2016年12月の発売から1年間を実施期間とします。以降はこの商品の普及状況を勘案して実施の継続を検討します。また、予告なく終了することがありますので、あらかじめご了承をお願いします。
- ★「THE クルマの保険 三重」は、「個人用自動車保険」または「一般自動車保険」に「地震・噴火・津波 車両全損時一時金特約」を付帯したプランのペットネームです。
- ★「THE クルマの保険 三重」はご加入者さまの交通安全を祈願する商品ですが、「THE クルマの保険 三重」にご加入された皆さまに事故が発生しないことをお約束するものではありません。
- ★損保ジャパン日本興亜は、特定の政治や宗教団体とは無関係であり、信仰等をお勧めすることは一切ありません。

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80 μ mのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。

さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

Debut



発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-10 〒564-8650 T 06. 6300 2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03. 3634 6161
お問合せ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800. 222 8020 (フリーコール) 製造販売・製造 株式会社 モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075. 611 2141
販売名: ベラビュー X800 標準価格: 3,600,000円～(消費税別除) 2016年10月21日現在 一般的名称: デジタル式歯科用パノラマ・断面撮影X線診断装置
機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 228ACB/X00008000
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800